

## 特集 平成27年度雲南管内高校生による企業見学

平成27年7月2日(木)に実施された雲南管内高校生による企業見学に、3年生25名が参加してきました。朝、バスに乗って三刀屋高校を出発した一同は、協栄金属工業株式会社、島根イーグル株式会社、サンセイ電機株式会社、ホシザキ電機株式会社、クシロブレーキ株式会社の5社を一日かけて見学してきました。

### ▶▶▶協栄金属工業株式会社

昭和47年に操業を開始した協栄金属工業株式会社。自動車部品からクリーンボックスまで、金属加工製品を設計から組み立て納品まで一貫して行っている会社です。雲南市内でよく見かけるごみ収集ボックスはこの会社の製品です。年始には、全社員が目標を掲げ、その目標の下、一丸となって働いている社員のみなさんが印象的でした。

### ▶▶▶島根イーグル株式会社

1990年に操業が開始された、全世界の自動車エアコンに使用される「リップシール」のシェア90パーセントを誇る世界的企業の島根工場です。同社の製品は、メルセデス・ベンツ、BMW、VW、ボルボ、レンジローバー、プジョーなどにも使用されています。空調が効いた工場内には、「カラクリストア」といった工場で独自に開発した製品があり、品質と能率の向上に常につとめている同社の姿勢を見学させていただき、生徒たちは興味深そうでした。社員教育が充実すると共に、夏まつりイベントを開催して、社員の福利厚生にも力を入れていることがよくわかりました。



### ▶▶▶サンセイ電機株式会社

ホシザキ電機の完全子会社。ホシザキ電機の各種ハーネスを製造加工しています。社員の離職率が低く、利益が出ているかどうかを、常に全社員が知ることで全員参画の経営を目指しているという説明がありました。また、「和心」という経営理念を大切に、社員が思いやりを持って仲良く幸せな人生を送れるようにしているということも教えていただきました。

### ▶▶▶ホシザキ電機株式会社

全自動製氷機や厨房用食器洗浄機のトップシェアを誇るホシザキ電機株式会社。「良い製品は、よい環境から」というモットーに、エンドユーザーに直販することで、顧客のニーズを的確に把握すると共に、質の高い全国均一のサービス体制を敷いていることが同社の強みであるとの説明を受けました。同社のモットー通り、巨大な工場内はすべて空調が効き、部品を輸送するロボットカーゴなど、工場内の労働条件は快適そのものでした。また、「ホシザキ電機では、世界で働く志を持った人物に、応募してほしい」とも教えていただきました。



### ▶▶▶クシロブレーキ株式会社

大東町に立地する、自動車のディスクブレーキパッドを製造する工場。同社のブレーキパッドは、世界的なブレーキメーカーであるブレンボにも使用されているという説明を聞いて、生徒たちは驚いていました。ブレーキパッドを製造するために、各種の原料を調合する現場も見学させていただきました。同社



では、「明るく、誰とでも話せるコミュニケーション能力の高い生徒、体力があり、我慢強い生徒、そして基本的な生活習慣がしっかりと身につけている生徒を求めている」という説明を受けました。

## ✿生徒・保護者の皆様へ✿ キャリア教育通信

本校のキャリア教育は、日々の授業、学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動、部活動など学校の教育活動全体を通じて取り組んでいます。進路指導部で企画している行事について紹介します。

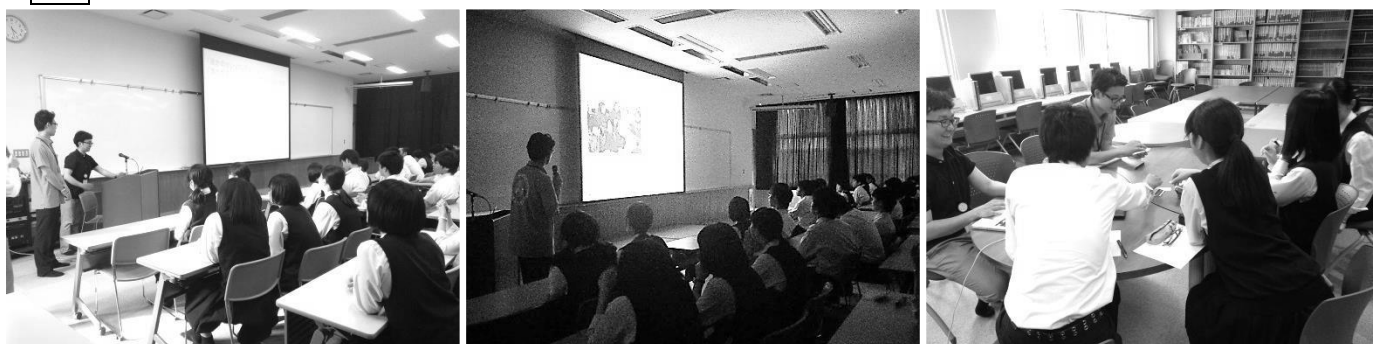
### ✿学年共通

#### ・大学・短期大学・専門学校別説明会 [6月27日]



本校を会場に32校もの大学、短大、専門学校の方を招き、学校別の説明会を開きました。1年生28名、2年生87名、3年生113名が参加し、進学希望先のブースを回って大学の概要を聞いていました。同時に公務員希望者、就職希望者向けの説明会と問題演習、模擬面接指導も行われました。

#### ・予告第2回自分を作る<sup>がっこう</sup>楽校 [7月25日 14:00~16:00 於雲南市役所]



第2回自分を作る楽校への参加者を募集しています。自分を作る楽校は若手社会人から職業の紹介、働く目的や生き方などをワークショップ形式で生徒に伝え、将来に対する思いを生徒から引き出す取り組みです。昨年から引き続き全国で活躍するALARE(アラーレ)の方々と、今年はさらに雲南市在住の社会人も参加する予定です。年度末に開催されるMY PROJECT AWARD(以下MPA)出場への足掛かりになればと思います。上の写真は2年生が自分を作る楽校を運営しているNPO法人カタリバの井上洋輔さんにMPAの説明を受けているところです(左中)。右の写真はMPAのために集まった2年生の有志とカタリバの生田裕規さんと井上さんが雲南地域が抱える課題について話し合いをしているところです。

#### ・予告医療・福祉系進路説明会 [9月17日 16:15~17:15 於大講義室]

医療系資格の違いや各大学・専門学校の特徴を知るために、各校から先生を招いて説明会を行います。

参加予定校：鳥取看護大学、広島国際大学、出雲医療看護専門学校、島根リハビリテーション学院、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校、トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校、浜田医療センター附属看護学校、松江総合医療専門学校、松江総合ビジネスカレッジ

・図書館から始まる学びのガイド [5～6月]



学校図書館はキャリア教育活動の拠点です。図書館司書の渡部先生から、情報源の種類とその特性についてと参考図書の活用方法についての説明を受けました。その他、課題発見・課題解決能力を育む三刀屋高校のキャリア活動に取り組むために必要なマッピングやブレインストーミング、KJ法などの「思考ツール」を学びました。

・地域産業研究職業人講話 [6月10日]



雲南市産業振興部産業推進課企業支援グループでグループリーダーをされている渡部喬さんと身体教育医学研究所うんなんで主任研究員をされている北湯口純さんを講師としてお招きしました。渡部さんからは雲南市の現状と産業振興の方向性について、北湯口さんからは雲南市の健康福祉の取り組みを紹介していただきました。

後半は雲南市の強みや弱みを組み合わせて地域活性化のための新しい発想を生み出す活動を行い、班ごとに発表しました(写真右)。いよいよ地域産業研究が始まります。夏季休業中のレポート作成をお忘れなく。

・アカデミックインターンシップ I (広島大学訪問) [7月15日]



広大訪問に臨み、就職・専門学校希望の生徒にこそ、大学の雰囲気を感じて欲しいと願っています。2年次に島大訪問がありますが、研究や学問の先端機関を訪問する機会は限られています。社会に出たとき、時代の「先端」を見て何かを感じとった経験があるかどうか、仕事の幅を左右するのではないのでしょうか。どのような職種であれ、「先端」とつながっていないものはないと思うからです。「自分は就職希望だから関係ないや…」ではなく、心動くことがあったことを願っています。大学説明では昨年度本校を卒業した藤原菜穂さん(写真中)他数名の現役大学生に話をしてもらいました。自ら進路研究を進めること、1年次からコツコツと力を積み上げることの大切さなど、実感を込めて語っていただきました。先輩たちの言葉は生徒たちの心にどのように届いたでしょう。3年次にあわてて進路を意識するのではなく、今が大切であることが語られたのではないのでしょうか。

🌸 2年

・進路講演会 [6月12日] 「高校生としての『旬』を生きる ～進路実現に向けて今なすべきこと～」



毎年恒例の教育未来研究会「そうぞう」村上育朗氏による講演。高校生活で心がけることとして、規則正しい生活の確立、自分を見つめる、主体的に生きる、真の学力を身に付ける、生徒会行事や部活動に夢中になる、プラス思考になる、受験を意識するなど挙げ、具体的に説明していただきました。

・東京研修旅行に向けて [5月から11月]



課題研究を進めるために、研修旅行3日目に班別自主研修を行います。班ごとに研究主題を解決するための訪問先となる官公庁や学術機関、民間企業を決め、電話やメールにて訪問の約束を取り付けているところです。

・予告夢実現チャレンジセミナー [8月3～6日 於サンレイク]

・予告保護者進路ガイダンス [9月25日]

🌸 3年

・雲南管内企業視察 [7月2日] 特集記事

・進路講演会 [7月9日] 「三刀屋高校生のための進路ガイダンス」

講師 香川大学アドミッションセンター 山崎 裕正 准教授

・予告高校生ジョブフェア [7月31日 於くにびきメッセ]

・予告夏期補習 [7月27～31日]

・予告集中学習日 [8月3～7日]

・予告就職試験出願開始 [9月4日]

・予告センター試験出願説明会 [9月8日]



前回4・5月号を発行してから、もう2か月が経つのですね。進路関係でためになる情報を提供しようと思いましたが、記事をまとめ始めるとキャリア教育のネタが沢山ありまして、結局キャリア教育特集のようになってしまいました。たった2か月でも結構あるものです。これが三刀屋高校の魅力でしょうか。

表題にある写真は、先日猛威を振るった台風11号(Nangka)をNASAのAqua衛星がとらえた中間解像度画像分光放射計による可視光域の写真です。光学や気象物理学などの基礎研究、機械工学、情報工学などの研究者、専門用語を平易な言葉で伝える人々によって私たちの安全が守られています。